

事業所名		放課後等デイサービスひなた		支援プログラム（参考様式）		作成日		令和7	年	2	月	24	日
法人（事業所）理念		「たのしいな、うれしいな がいっぱい」人生って楽しい！と思えるように全力でお手伝いします！ 「障がいがあるからできない」ではなく「障がいがあってもできる」ということを一つでも多く見い出すことが私たちの使命と考えています。障がいを持つ子供たちが安心して暮らすためには学校や家族との連携が必要不可欠。そのため安心できる「居場所づくり」を目指しています。											
支援方針		支援内容 「生活・遊び・労働」3本の柱で活動を考えています 生活・・・元気な挨拶 身辺自立 手洗い・排泄片付けなど、 公共交通機関を利用した外出経験 遊び・・・友達と心と身体をつかったあそび(公園、室内遊び、季節の行事イベント) 体育館でバスケットボール、運動遊び、集団遊びなど 労働・・・調理実習、畑作業、お弁当箱洗いなど											
営業時間		(平日) 13：30から17：30 (土・祝) 10：00から16：00				送迎実施の有無		あり					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善…健康な体と心を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。 生活のリズムや生活習慣の形成…睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に付けられるように支援する。 基本的生活スキルの獲得…身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄などの生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援する。											
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上…日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図る。 保有する感覚の総合的な活用…保有する視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるように遊び等を通して支援する。 感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応…感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整などの支援を行う。											
	認知・行動	認知の発達と行動の習得…視覚・聴覚・触覚の感覚を十分に活用して、必要な情報を収集して認知機能を促す支援を行う。 空間・時間・数などの概念形成の習得…数量・形の大きさ・重さ・色の違いなどの習得のために支援を行う。 認知の偏りへの対応…認知の特性を踏まえ自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。またこだわりや偏食等に対する支援を行う。 行動障害への予防及び対応…感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。											
	言語 コミュニケーション	言語の形成と活用…具体的事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発生を促す支援を行う。 言語の受容及び表出…話し言葉や各種の文字・記号などを用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。 指差し・身振り・サインなどの活用…指差し、身振り、サインなどを用いて、環境の理解と意志の伝達ができるように支援する。 コミュニケーション手段の活用…文字・絵カード・音声・機器などのコミュニケーション手段を適切に活用し、環境の理解や意思の伝達ができるよう支援する。											
	人間関係 社会性	他者との関わり（人間関係）の形成…人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 模倣行動の支援…遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援…感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して徐々に社会性の発達を支援する。 一人遊びから共同遊びへの支援…周囲に子供がいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して徐々に社会性の発達を支援する。 自己の理解とコントロールのための支援…大人を介在して自分の出来ること、出来ない事、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちの情動の調整ができるよう支援する。 集団への参加の支援…集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。											
家族支援		家庭での困りごとに対する助言やサポート 延長サービス レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援				移行支援		学校・関係機関との連携					
地域支援・地域連携		地域のスーパーや駄菓子屋への買い物・図書館や体育館・プール・ジムの利用 公園で地域の子供との交流を図る 地域イベントへの参加				職員の質の向上		一人一人の児童に対する担当者会議の実施 月に1回の外部講師を招いた社内研修 安全管理の共有					
主な行事等		土・祝・長期休み…畑作業で収穫したもので調理実習 春➡お花見・バーベキュー・遠足 夏➡プール・川遊び・流しうめん 秋➡秋祭り・芋ほり・運動会 冬➡もちつき・初詣・マラソン大会・卒所式 年二回の避難訓練											